

◆住所または勤務所変更について

会員の住所または勤務所が変更になり、それが配本に関係があるような場合には是非共当事務局までご連絡下さい。

◆既刊図書の特売について

本会は会員組織をとつており原則的には会員外の方には図書を分売しないことになっていましたが、発行年度を越えて尚残部がある場合に限り一般の方へもお頒ちすることになりました。左記をこらんの上ご希望の方は至急お申し込み下さい。尚、品切れの際はごようしや下さい。

記

- 山に育つ子 (二〇〇円・送料四〇円)
- 明治あれこれ (二五〇円・送料四〇円)
- 近世群馬の人々 (三五〇円・送料五〇円)

以上の通りですが、二冊以上の場合送料は九〇円となります。

◆会員の増募について

郷土に生まれたこの会を郷土人みんなの手でますます発

展させていただきたいと存じます。各会員の方が一人でも会員のかくたくにご協力下さい。ご希望の向きは次の要項によりふるつてお申し込み下さい。

- 一、お申し込みは電話またははがきで、住所、氏名、勤務場所を明記のこと。
- 二、加入は三十九年度または四十年から。
- 三、会費は年間一、〇〇〇円、郵送の場合二〇〇円増。
- 四、申込先、前橋市栄町一〇原立図書館内

みやま文庫事務局

電話(前橋)三ノ三〇〇八番
 振替(東京) 一四二五九番



みやま文庫

会報

No. 7
 40. 4. 10

「道しるべ」

萩原進著

県内には中仙道・三国街道・例幣使街道等いくつかの往時の交通ルートがありますが、興味深いそのおかげも時代の流れとともに失われて行きます。これを惜んだ原談芸図書室長萩原進氏が六十余人にのぼる協力者の資料提供をもととして集大成した肩のこらない交通史であり

ます。豊富な写真と適切な解説はドライブによる歴史探訪のよい手引ともなりましょう。

「群馬の地質」(仮題)

木崎 晋雄 編

日本列島のほぼ中央にある本県は、地質学上にも又多くの興味ある事象が見られます。日常生活とは一見縁遠い地質学上の諸問題を赤城・妙義・谷川・荒船等個々の山々をとりあげて分り易く解明し、日本列島の地質上の姿が群馬県にいかにも表われているかを説明しております。巻末には県内の伝承・故事・天然記念物等を科学的に注釈したリストを載せる予定です。

三九年度第四回配本「ふるさとの風土とくらし」がようやくお届けできる運びとなりました。重ね重ねの印刷の遅延によるもので誠に申し訳ありません。深くおわび申し上げますとともに今後の刊行について十分反省いたしたいと存じます。

昭和四十年の刊行計画は次のよう内定いたしました。

「上毛野草語・西毛編」

故 宮崎雷八編

さきに三九年度第一回配本としてお届けしてあるものの続編として利根川以西の分を「西毛編」といたしました。県内各地の伝承・故事等を取りまとめたものであります。

「群馬の音楽」(仮題)

山後 田藤 重直次郎(樹) 著

音楽モデル原の群馬は誇るにたる楽人を輩出し、また輝かしい歴史をも持っております。本県音楽教育界の中心的存在のお二人に、明治以後の群馬の音楽の歩みを記していただきました。

「群馬の生物」(仮題)

五味 礼夫 編

観音山の小鳥と植物・多々良沼の藻・浅間山麓の野鳥等の項目について、永く現地で研究調査を続けている方々にそれぞれの分野での成果を炉辺談話風にとりまとめてお書き頂きます。

以上五編の内早くに出来上りました四冊を四十年年度分として刊行・配本し他の一編は四十一年度分といたします。なお装訂は小林良賢、千木良富士、狩野守、南城一夫(順不同)の諸画伯に麗筆をふるって頂く予定です。

字句の訂正

みやま文庫二五「上州の温泉」一一五頁二行目「記事に

よつて」を「記事などと比較して、みても」と訂正いたします。

右、筆者有川義徳男氏のご希望により御連絡いたします。

会員の声

小生みやま文庫会員として配本いただいております。いつも充実した内容と豊かさによろこんでおります。

過日、いただいた秘境の釣りとりは少々関係ありいつきに読みましたが、その内、一五四頁七行の「わが群馬県には約四百種類の鳥類とあります。執筆者がどのような記録からこのような数字を出したかは知りませんが、群馬県には現在迄に、いまだ二三五種類しか見聞されておられません。日本全国の鳥が四二四種記録されているだけで(一四種五五)その内迷鳥、海鳥等を除くと四季見聞出来るのは三分の一にしかありません。

このような訳で群馬の二三五種は決して少なくはなく原則に見ると多い方なのにそれが四百種とは少々理解に苦しみます。文化運動の遂進たる貴文庫なるがゆえ誤った報道になると遺憾と思ってお知らせいたします。なにかの折、訂正していただければ幸甚に存じます。

(日本野鳥の会群馬県支部副支部長 卯木達朗)

「秘境の釣りとり」たしかに頂きました。いつも期待して楽しみによんでおります。なかなか旅行も出来ませんのでこの度も嬉れしくよませて頂きます。世間を知らない自分にとっては県内を知るに大切な刊行物です。今後ともよろしく願います。

(前橋中央小・武藤栄蔵)

前略

インクの香りと共に訪れる郷土のさまざまな姿に接する度に私は地方における出版の困難を思い、編集者や事務局のご労苦を感ずるものであります。

毎日興味深く読ませて頂いておりますが、文化が中央にのみ偏在する傾向の強い今日、こうした郷土文化の向上に対するご努力は高く評価されて然るべきでしよう。

今後の好企画に期待を寄せております。

余業尚まぎしき折、皆様のご活躍とご健康をお祈りいたします。

(勢多郡大胡町大栄信用金庫内)

小林 博

事務局便り

陽春の候会員の皆様には益々御健祥の事と拝察いたしま

す。

さて昭和四十年年度を迎えますに当たり、二、三申し上げ皆様の絶大なる御協力をお願い申し上げます。

◆会員の継続について

今までの会員は全員継続御購読下さいますようお願いいたします。若し止むを得ない事情で退会なさりたい方は五月末日までに事務局までお申し出下さい。期限内にご連絡がない場合はご継続と認め処理させていただきますからご了承下さい。

◆会費の前納について

四十年度も会費は年額一、〇〇〇円と内定、郵送の方は一、二〇〇円加算して一、二〇〇円となります。会費前納については昨年度も大へんご協力を賜わりありがとうございました。本年も是非共にご協力下さつて六月末日までにご納入下さい。

会費の早期完納は、会員組織による本会の運営上誠に切実な問題でございます。全会員がご理解ご協力下さいますよう懇願いたす次第です。